令和２年12月１日発行（毎月１回１日発行）通巻第676号

林業福島

No. 676

題字　公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会
会長　齋藤卓夫

ふくしまから
はじめよう。
Future From Fukushima.

12 2020

監　　修■福島県農林水産部
表紙の写真■かま　　出　　し

キャンプ・ブーム

公益財団法人ふくしまフォレスト・エコ・ライフ財団
理事長　菊　池　壯　藏

「第三回ふくしま植樹祭」は残念ながら台風の影響で中止になってしまいました。気まぐれな自然を相手にした仕事に従事している方々の大変さを痛感します。このイベントに向け周到な準備を重ねられてきた関係者・スタッフの方々の努力に敬意を表したいと思います。

さて、昨今のコロナ禍。「緊急事態宣言」による外出自粛要請やらで「フォレストパークあだたら」でも春先の閉鎖を余儀なくされました。その後、収容能力の五割、七割と徐々に利用客の受け入れ枠を拡大してきましたが、なお定員の七割を上限としたまま十一月からのキャンプサイトの一部を閉鎖する冬季体制に入ってしまいました。それでもなお、利用客数は思いの外多く推移しており、日によっては天井の七割制限を越えた予約申し込みに対してお断りせざるを得ないという事態もあるようです。

この傾向に、折からの「キャンプ・ブーム」の影響があることが実感されます。特に、緊急事態宣言解除後には、巣籠り生活のフラストレーションを一気に解放するかのように、キャンプサイトの利用者が増え続けています。各種のアウトドア雑誌やテレビ番組などでは、軒並みキャンプ特集が組まれ、空前のブームのような状況が生み出されているようです。それらには、キャンプ・ギア趣味、キャンプ料理趣味、焚き火趣味、等々各種あるようですが、根源的には自然と接する生活への回帰欲求があるのかもしれません。ステイ・ホームの時期には、自宅の庭やマンションのベランダ、室内にテントを張っての「おうちでキャンプ」なども盛んに紹介され、その楽しさの発見がそのままキャンプサイトへの流れにもつながってきているようです。

今やマンガやアニメにもなっている「ソロキャンプ」。そのブームの火付け役のひとり、(自虐ネタでブレイクした)「ヒロシ」のソロキャンプ動画配信・著作も相当影響力があったようです。彼は、ついにキャンプ用に自分の山を購入するまでに至りました。また、巣籠り期間中にベランダにテントを張って「ソロキャンプ」もどきの姿を見せていた春風亭昇太師匠も、アウトドア番組で「秘密基地」用にひとヤマ買ったようで、「自分の山を買う」のもまた人気みたいです。こうしたＴＶ番組の派生企画として「焚き火」を囲んだトーク番組なども作られ、これまた人気を博しています。わがフォレストパークのキャンプサイトでも、ひとり焚き火の炎を眺めているソロキャンプ利用者を見かけることが増えてきたそうです。

オール電化住宅に住み、ガスも使わず、親もタバコを吸わない家庭に育った子供たちは、直火を全く知らずに大きくなって行くわけで。大げさに言えば、マッチもライターも使い方を知らず、自分で火をおこせない新たな人類が誕生しつつある時代なのかもしれません。そうした時代のなかでこそ「キャンプ」の楽しさを手がかりに、森林から誕生したとも言われる人類の、原点に回帰するチャンスなのかもしれません。

願わくば、この「キャンプ・ブーム」が一過性のものに終わらずに、「森林との共生」という理念の幅広い浸透に結果してくれることを、と祈っております。

《もくじ》

とびら
キャンプ・ブーム
公益財団法人ふくしまフォレスト・エコ・ライフ財団
理事長　菊　池　壯　藏……1
第45回福島県林業祭……2
令和２年度福島県林業コンクール……3
第17回ふくしま森林・林業写真コンクール…3
第71回福島県学校関係緑化コンクール……4
第23回福島県森林組合連合会良質材展示会…4
第５回福島県きのこ料理コンクールを開催…5
令和初のふくしま緑の百景歩こう会を開催!!…6
福島県初の林業遺産の認定・登録……7
福島県サプライチェーンマネージメント
推進フォーラム設立……8
普及指導員通信……9
森連だより……10
木の文化を育む㉑……11
木材市況・ふくしま東西南北……12
はなしのひろば・お知らせコーナー……13

第四五回福島県林業祭を開催しました

福島県林業祭実行委員会

令和二年度林業コンクール等表彰式及び第四五回福島県林業祭を、令和二年十一月十五日に、二本松市の福島県男女共生センターにおいて開催しました。

同センター研修ホールにおいて、午前に「令和二年度福島県林業コンクール等表彰式」を実施し、林業コンクールや学校関係緑化コンクール等、四八件について、受賞者の皆様に表彰状等が授与されました。（表彰内容は、各コンクールの紹介ページをご覧ください。）

また、今回はいわき市立田人中学校に、緑化活動等に関するこれまでの功績を称えた、緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰が行われました。さらに午後は、第四五回福島県林業祭として「集え、若き杣人（そまびと）！～林業担い手討論会～」を開催しました。

今年の林業祭は、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、事前申込み制のうえ、感染症対策を徹底するなど、例年とは違ったスタイルで開催することになったものです。

はじめに、林業の担い手育成に向けた県の取組として、令和四年度の開講に向けた新たな林業研修拠点の整備等について紹介するとともに、討論会では、福島県の林業の現場で活躍している若手職員や経営者をパネルディスカッションの登壇者に招き、『林業の担い手に向けて～林業の魅力と展望～』をテーマに、林業という仕事の実態ややりがい、担い手の確保・育成に向けた戦略等について語っていただきました。

参加者は林業の担い手や高校生、大学生、林業に興味・関心がある方など、約一〇〇名の方々が熱心に聴講するとともに、学生などから登壇者に多くの質問が寄せられていました。

皆様の御協力により、無事に実施することが出来ました。なお、このイベントの様子は、動画共有サイトYouTubeに掲載する予定ですので、是非ご覧ください。今後も森林・林業関係者が一体となり、森林・林業・木材産業の魅力を発信するとともに、地域産業の活性化に向けた活動を継続してまいります。

登壇者（敬称略）

コーディネーター
奥久慈流域林業活性化センター
事務局長　小泉　美峰

パネラー
- 有限会社ウッド福生
  現場作業員　小山田恭丈
- 福島県北森林組合
  職員　日野　健太
- 株式会社アメリカ屋
  専務取締役　鈴木　優作
- 有限会社平子商店
  専務取締役　平子美穂子
- アイパワーフォレスト株式会社
  代表取締役社長　五十嵐乃里枝

パネルディスカッションの様子

終了後も見られた学生から登壇者への質問

会場からの意見

令和二年度

福島県林業コンクール

福島県林業振興課

福島県林業コンクールは、林業技術の向上と林業経営の改善を図り、本県林業の発展を推進することを目的として開催しています。

今年度は、十二件の応募があり、林業振興課職員等による現地審査の後、十月二七日に森林・林業関係団体等の代表者からなる審査委員会を開催し、各賞の受賞者を決定しました。

今年度は、本格化する主伐後再造林の低コスト化が重要視される現状に合わせ、コンクールの部門の統合化や審査基準等の見直しを行いました。今後も時代の変化に対する要請に応えられるよう見直しを図りながら林業経営者の方々に奮起していただけるきっかけとなるよう、引き続き開催してまいります。

山林苗畑部門県知事賞の苗畑（長嶺　忠和）

部門別表彰者

一　山林苗畑部門

福島県知事賞　長嶺　忠和

二　森林育成（造林）部門

公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会長賞　安藤　一衛

福島県森林組合連合会代表理事会長賞　石井タカ子

福島県農林種苗農業協同組合代表理事組合長賞

相馬地方森林組合代表理事組合長　八巻　一昭

三　森林育成（枝打）部門

福島県森林組合連合会代表理事会長賞　荻野　誠

四　森林育成（間伐）部門

福島県知事賞　近藤　貢

福島県木材協同組合連合会長賞　小檜山　愼

福島県森林組合連合会代表理事会長賞　根本日出明

公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会長賞　森　啓二

農林中央金庫福島支店長賞　月田禮次郎

福島県林業経営者協会長賞　三本松清衛

馬場　正志

第十七回

ふくしま森林・林業写真コンクール

公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会

ふくしま森林・林業写真コンクールは、森林の大切さとそれを支える林業の重要性を県内外に広く発信することを目的に、毎年度開催しています。

本年度の応募人数は四三人、応募作品数は八八点と多数の応募があり、十月七日、県写真連盟高橋良雄様を審査委員長に、県及び林業団体で構成する審査委員会において厳正に審査し、入賞作品を決定しました。

入賞作品は、十一月三〇日(月)から十二月四日(金)まで県庁連絡通路に展示し、写真を通して頑張る林業の姿を広くＰＲします。また、当協会のホームページでもご覧いただけます。

今後は「林業福島」の表紙に適宜掲載してまいります。

第17回最優秀賞受賞作品

（最優秀賞、優秀賞及び特別賞の入賞者）

賞の種類		入賞者		
区分	賞名	市町村	氏名	題名
最優秀賞	福島県知事賞	会津若松市	大島　市郎	木材積み込み作業
優秀賞	公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会長賞	いわき市	柏舘　健	樹林に歓声響きて
		栃木県	渡邉　廣壽	それぞれの主張
		福島市	涌井　礼子	今日も頑張った
特別賞	一般財団法人福島県林業会館理事長賞	福島市	澁谷　謙治	木材ピラミッド

第七一回

福島県学校関係緑化コンクール

福島県森林保全課

当コンクールは、児童・生徒の緑化活動及び学校における環境教育の一層の推進を図るため、福島県及び福島県教育委員会の共催により毎年開催しています。今年は十件（学校林等活動の部二件、学校環境緑化の部八件）の応募があり、県審査委員会による審査により、表彰者を決定しました。

このうち、最優秀賞（県知事賞）は次のとおりです。

1　学校林等活動の部

・会津若松市立湊小学校

猪苗代湖に流れ込む、原川の水源地となる学校林において下刈りや除伐作業に取り組むとともに、河川の生き物調査や猪苗代湖の水質調査を行うなど、森林の役割や森林環境の大切さを学んでいます。

学校林での活動の様子
（会津若松市立湊小学校）

2　学校環境緑化の部

・会津若松市立川南小学校

教育課程である川南ＥＳＤを取り入れながら学校環境緑化を通して「行動する」、「つながる」、「伝える」を基盤として、関係団体と連携して学年の花壇づくり、学校水田、学校菜園、ラベンダー栽培等の活動を行い森林環境教育を学んでいます。

また、インターネットを通じて活動内容を幅広く発信し続け波紋効果にも期待が持てる活動をしております。

学校環境整備の様子
（会津若松市立川南小学校）

第二三回

福島県森林組合連合会良質材展示会

福島県森林組合連合会

福島県森林組合連合会良質材展示会は、林野庁、福島県、関東森林管理局、福島県木材協同組合連合会からのご後援をいただき、毎年当センターの記念市と同時に開催しておりますが、十月一九日開催を予定しておりました、第二三回福島県森林組合連合会良質材展示会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため式典を中止し、記念市のみ行いました。

この行事は、生産技術や木材品質の向上、福島県産材の優秀性を広く紹介し、また木材需給の安定に寄与することを目的に開催回数を重ねてまいりました。

去る十月十四日に、当センターにおいて福島県、福島県木材協同組合連合会、買方者代表の方々のご協力の下、県森連の計五名により審査会を行いました。

今年度の審査結果につきましては、表１「受賞者名簿」のとおりとなっております。

ご出展いただきましてありがとうございました。

これまで良質材展示会の開催を続けてこられましたのも、出荷者、買方者の皆様のご協力並びに関係機関のご指導ご協力があってのことと、この場をお借りし改めて感謝申し上げます。

当センターは、流通施設としてＳＧＥＣ／ＣｏＣ認証を取得するなど県内森林組合系統の唯一の木材市場として、買方者の皆様に福島県産材を安心してお求めいただけるよう、供給体制の強化に全力で努めてまいりますので、今後も当センターをご利用下さいますようお願いいたします。

「審査の流れ」

第一次審査　材の数量規定、造材技術や商品価値を満たしているか等を審査します。

第二次審査　第一次審査で選出された材について、審査員が表２の基準により材種区分ごとに審査し、各賞を決定します。

（表１）「受賞者名簿」

賞　　名	受賞者名	樹種	長級(m)	径級(cm)
林野庁長官賞	石嶋商事　石嶋美智男	スギ	6.00	18－20
福島県知事賞	水野　悦男	スギ	3.65	50－54
関東森林管理局長賞	ふくしま中央森林組合	スギ	3.65	54－58
福島県木材協同組合連合会長賞	田村森林組合 代表理事組合長 矢吹　盛一	スギ	4.00	40－46
福島県木材協同組合連合会長賞	大原林業 代表　水野　郁夫	スギ	3.00	18－20
福島県森林組合連合会長賞	いわき市森林組合 代表理事組合長 田子　英司	スギ	3.65	40－42
福島県森林組合連合会長賞	阿部　好春	スギ	4.00	40
福島県森林組合連合会長賞	遠野興産株式会社 代表取締役　中野　光	スギ	4.00	40－46

（表２）審査基準

審査項目	審査対象
育林技術	節の有無・大小
	年輪幅
	材の曲がり
	材のまる身・偏心
	材の光沢・色彩
造材技術	枝はらい
	材の切断面
	延寸
総　合	商品価値・市場性

第五回福島県きのこ料理コンクールを開催

公益社団法人　福島県森林・林業・緑化協会　きのこ振興センター
福島県きのこ振興協議会

令和二年十一月二三日(月・祝)、郡山市安積総合学習センターにおいて「第五回福島県きのこ料理コンクール本審査会」を開催しました。同コンクールは、食用きのこについての正しい知識とその利活用の普及啓発により県民の皆様の健康増進に寄与するとともに、きのこ産業の振興を図ることを目的としており、福島県、福島県森林組合連合会、全国農業協同組合連合会福島県本部の後援をいただき開催しました。

今回は二八〇点（うち高校生二二五点、大学生四二点、一般十三点）の応募があり、応募総数が二〇〇点を上回ったため、規定により最優秀賞である県知事賞は二点の選出となりました。当協会が委嘱した五名の審査員により、十月二九日に書類による一次審査を、十一月二三日には調理の実技を伴う本審査を行い、七名の方の入賞が決定しました。

本審査の当日は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため調理時を含め様々な対策を取り入れたことから、皆様にはこれまで以上に負担をかけてしまいましたが、全出場者とも規定の時間内に作品を仕上げることができました。作品は年々レベルが上がっていて、火の使い方、彩り、盛りつけの良さが高く評価されていました。きのこの香りや食感が活かされ、生産者の顔も見えるよう考えられていて、日々の努力の賜と察しますとともに、ご指導頂きました先生方に深く感謝いたします。

入賞者のうち県知事賞を受賞した室井つな子さんと飯村菜月さんは、令和三年三月十二日に東京都で開催される予定の第三三回きのこ料理コンクール全国大会へ福島県代表として推薦されることとなります。

室井つな子さん　県知事賞受賞作品
「華やかきのこの吟醸仕立て」

飯村菜月さん　県知事賞受賞作品
「きのこ真薯　ふくしま魂
～網焼き　秋の香り添え～」

表彰式後の記念撮影

受賞者一覧

	作品名	氏名	所属
県知事賞	華やかきのこの吟醸仕立て	室井つな子	一般
	きのこ真薯　ふくしま魂　～網焼き　秋の香り添え～	飯村菜月	郡山女子大学
優秀賞	きのこの宝石箱	伊藤真凜	郡山女子大学附属高等学校
特別賞	食べてビックリ！きくらげコリコリロールキャベツ　福島県産きのこたっぷりホワイトソース添え	眞田楓華	福島県立耶麻農業高等学校
奨励賞	キノコ三昧大葉餃子	安齋郁美	郡山女子大学附属高等学校
	なんちゃって！会津城下町のソースかつ丼	相樂亜美	郡山女子大学短期大学部
	福島版あげギョーザ　～彩りなめこソースを添えて～	小熊うらら	福島県立あさか開成高等学校

令和初のふくしま緑の百景歩こう会を開催!!

公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会 緑化推進局

ふくしま緑の百景歩こう会は、国際森林年を記念し、ふるさとの森や樹木を見直し、その美しさを守り育てることを目的に、祖先や先輩たちによって長い年月の間、愛され、育てられ、地域の人々の心のよりどころとなっている緑の百景をウォーキングコースに、地元市町村との共催により毎年開催しております。

第三二回目となる今大会は、昨年の開催が四月だったため、令和になって初めての開催となり、十月十七日(土)に白河市の南湖森林公園をスタート、南湖神社をゴールとし、あいにくの雨の中、多くの方々にご参加いただきました。参加者の皆様は、士民共楽の歴史ある南湖公園のアカマツをはじめ豊かな自然を眺めながら、歴史情緒あふれる小峰城跡や城下町などを巡る約一〇キロメートルのコースを楽しみました。

スタート

コースの最後には参加者全員に地元名物の南湖だんごや緑化用苗木（ユキヤナギ）などのプレゼントをお渡しし、ゴールとしました。

今回の歩こう会は、募集の段階から参加者数を限定させていただき、検温、問診、手指消毒、マスク着用、ソーシャルディスタンスの確保など、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しました。

新型コロナウイルス感染症の影響下でも参加者の皆様のご協力のもと、多くのイベントが中止や延期となる中で継続して無事に開催できたことに、心より感謝申し上げます。

ゆっくり歩こう!!

今後とも皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。

緑化苗木も配布しました

もうすぐゴール

福島県初の林業遺産の認定・登録

林野庁関東森林管理局福島森林管理署

福島森林管理署管内の大舟国有林（福島市飯坂町湯野）にある湯野風穴が、「湯野風穴種子貯蔵施設遺構」として一般社団法人日本森林学会により二〇一九年度の林業遺産として二〇二〇年五月二七日に認定されました。林業遺産への認定は、東北地方では二番目、福島県では初となります。

林業遺産とは、一般社団法人日本森林学会が、学会一〇〇周年を契機として、日本各地の林業発展の歴史を、将来にわたって記憶・記録していくための試みとして、二〇一三年度から開始した「林業遺産」選定事業により選定されるものです。

各年度ごとに、林業発展の歴史を示す景観、施設、跡地等、土地に結びついたものを中心に、体系的な技術、特徴的な道具類、古文書等の資料群が、林業遺産として認定されています。

湯野風穴種子貯蔵施設は、自然現象を活かした風穴により低温貯蔵を確保した施設です。戦後の積極的な植林政策の中で、国有林、民有林で植えられたスギなどの苗木が大量に必要となった時期に、苗木の増産に必要な種子の貯蔵を支えました。

なお、種子貯蔵に用いられる以前は、蚕種貯蔵施設として利用されており、その再利用となっています。

当該施設の大きさは、外側が一二メートル×八メートルの長方形で風穴内部は一〇メートル×三メートルで三〇平方メートルの広さ、高さは二メートルとなっています。その作りは、流紋岩崖錐斜面の下部に位置し、流紋岩転石による空石積構造の風穴です。風穴は、斜面上部の冷気が崖錐斜面の転石内を降下し風穴石積内に流れ込むことによって、外気よりも低い室温を維持するものです。現在も施設内には冷風が吹き出し低温状態が維持されていることから、蜘蛛の巣が存在しないなど昆虫類の生息が全く確認できません。このため、現在も種子の貯蔵環境が維持されていると思われます。

湯野風穴種子貯蔵施設は、天井まで空石積となっており、風穴施設の多くが木造天井であることからすれば他に例を見ない風穴構造であり、かつ、完全な形で現存していることが特徴です。このことが評価され林業遺産の認定に繋がりました。

福島森林管理署では、当該施設が築造されてから長年月が経過していることから、一般の方の入場を制限する警告表示や施設の案内看板を設置するとともに、林業の歴史を伝える施設の管理をしていくこととしています。

斜面下部からの施設全景

施設内の状況

施設案内看板の設置

福島県サプライチェーンマネージメント推進フォーラムの設立について

福島県木材協同組合連合会

福島県は、素材生産量・素材入荷量・燃料用木質チップ利用量・製材工場数どれもが全国上位にあり、全国有数の林業県です。

一方、東日本大震災により、福島県の林業・木材産業は、未だ木材や特用林産物の生産額減少等の影響下にあり、その対策として、国や福島県の支援により様々な事業を実施しているところでありますが、風評被害の払拭を含め、さらなる林業・木材産業復興への施策展開が求められているところであります。

充実する県内森林資源を利活用し林業・木材産業を一層発展させるためには、様々な分野での木材利用拡大による新たな需要の創出とともに、地域材の安定供給体制の構築が必要となっています。このため、福島県木材協同組合連合会・福島県素材生産協同組合では川上から川下までの事業者の連携による効率的なサプライチェーン構築を推進することとし、「福島サプライチェーンマネージメント推進フォーラム」（以下、フォーラム）を設立しました。

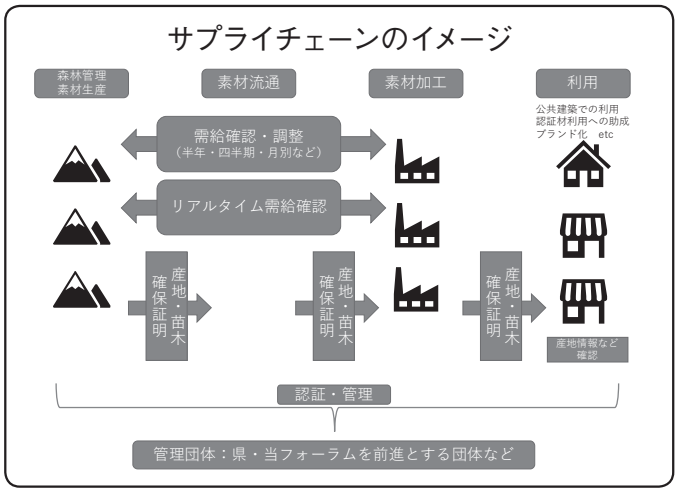
11月13日　郡山市の「ビッグパレットふくしま」において、フォーラム設立のための会議を林野庁･福島県･中央及び県の各団体や、この活動を理解し賛同いただけた県内の素材生産業者、森林組合、木材製材・加工業者、工務店・住宅メーカー等18社の参加を得て開催し、フォーラム設立と今年度の事業計画等について協議を行いました。

このフォーラムでは、事業者の連携による効率的なサプライチェーンを構築するため、事業者間のマッチング推進や需給情報の共有等を図る以下の活動を行います。

⑴　フォーラムに参加する事業者（以下「会員」という）の募集・登録
⑵　会員によるマッチング等に向けた情報交換会の開催
⑶　会員による木材流通の効率化を図るための具体的な構想・計画の作成
⑷　木材SCM支援システムの活用や、会員への操作方法等の指導
⑸　各段階の事業者等を熟知したコーディネーターを配置し、会員間のマッチング実施
⑹　その他、フォーラムの目的を達成するために必要な活動

今年度は、フォーラムに参加する事業者の募集･登録、木材SCM支援システムの会員への操作方法等の指導、木材流通の効率化を図るための具体的な構想・計画の作成等を行うこととしております。特に会津地域は既に構想・計画ができているため、サプライチェーン構築について支援する予定です。

木材SCM支援システム
（通称「もりんく」）：木材に関連する事業者が登録し、製品等をPRするとともに、事業者同士（需要者・供給者／買いたい事業者・売りたい事業者）をつなげるシステム



13日の会議（ビッグパレットふくしま）

会津桐の再生について

会津農林事務所
林業普及指導員　山　田　　誠

１　はじめに

福島県の桐の生産量は、国の統計によると昭和62年以降全国１位を継続しており、そのほとんどが会津産となっています。一方、安価な中国桐の普及や生活様式の変化に伴う桐材価格の下落等、桐生産を取りまく環境は悪化しており、平成23年に県内唯一の桐苗生産者（会津管内）が廃業して以降は桐苗生産者不在の状況が続き、桐資源の確保は会津地域の課題となっています。そこで会津農林事務所では、令和元年度よりプロジェクトチームを結成し、会津桐の資源確保のため取組を開始しました。

２　会津桐苗プロジェクトチームの活動

林業技術現地適応化事業を活用し、会津桐の資源造成を担ってもらう新規の桐苗生産者を募るとともに、林業研究センターが開発した新たな桐苗生産技術（桐玉植苗）を習得していただき、苗木の生産に取り組むこととしました。

⑴　新規桐苗生産者の確保

管内関係者に募集を行った結果、以下の４者が桐苗生産に取り組むこととなりました。

会津農林高等学校（会津坂下町）、㈱斎藤桐材店（会津若松市）、佐久間建設工業㈱（三島町）、ファーム年樹（喜多方市）

⑵　新たな桐苗生産技術（桐玉植苗）の習得

桐玉植苗は、実生による桐の台切りポット苗です。この苗の利点は、実生のため病気を伝播しないこと、ポット苗なので植栽時に根を切らないため傷口からの病気感染リスクを軽減できること、台切り苗で根茎だけを植栽するため雪囲いの手間が省け、直材生産が可能となることです。

この玉植苗の生産技術習得のため、林業普及指導員等による巡回指導の他、３月に播種講習会、６月に植替え講習会、11月に出荷規格目合わせ会、植栽検討会を開催し、チームが一丸となって技術の普及を行いました。

３　今後の活動

- 令和２年３月に播種した種から、11月現在で500本の桐苗を生産することができました。今後はこれらの苗を植栽し、資源の造成を図っていきます。
- これまでの活動を通じて、生産者等から桐の普及のためのいろいろなアイディア（主なものは以下のとおり）が出されており、今後検討していきたいと思っています。
  ①　寒冷地における早生樹としての活用
  ②　桐振興のPRにおける桐の花の活用（香りが良く美しい紫色が珍しいことから、桜の花の後に、美しい桐の花と新緑を見てもらう）
- 今後とも、地域と連携して生産した苗木による資源造成を進めるとともに、会津桐の魅力を発信することで、桐の生産者（仲間）を増やしていきたいと思いますので、応援をお願いします。

桐苗の状況（9月）

植栽検討会の集合写真（桐苗プロジェクトチーム）

森連だより

無人航空機の活用に向けて

福島県森林組合連合会

これまで、空撮等の空に関する業務は、高い専門性や設備が必要なことから、特定の事業者に限られており、使用する機体の多くは実際に人が搭乗する有人機です。

一部、無人航空機として農薬散布ヘリコプター等がありますが、こちらも専門的な知識・技術を要するほか、価格も高額です。

しかし、近年、ドローンと呼ばれるマルチコプターが登場すると、操縦性の良さと価格から、個人でも手軽に空撮を楽しめるようになり、様々な産業においても取り入れられるようになってきました。

森林・林業分野でも無人航空機の活用について、全国の林業関係者や研究機関で検討が進められており、県内でも無人航空機の導入が進んでいますが、実際に飛行させている方や導入を検討している方の話を聞いていると航空法に対する認識が不十分であったり、資格が必要であると誤った認識をしている場合が、意外にも多いと感じます。

そこで、法令に基づいた無人航空機の取扱いについて知識を深めてもらうため、研修会を開催したので紹介します。

研修会では、県内でドローン講習会や機体の取扱い実績のある株式会社スペースワン様にご協力頂き、無人航空機に関する基本事項と関係法等についての座学を行うとともに、実際に無人航空機の操縦の体験会を実施しました。また、当会からも無人航空機を活用した森林調査やＧＩＳ等での利用方法について事例を紹介しました。

研修会の様子

今年は更に、研修会と並行して無人航空機を実際に業務で活用を検討している方を対象とした「操縦者養成講習」も実施しました。

無人航空機の運用上のルールとして、原則的に無人航空機を目視内で飛行させなければならないほか、飛行可能高度も地上高一五〇㍍までとなっており、制限を受けずに飛行させるためには、国土交通省の許可・承認が必要となります。

この許可・承認を受けるためには、一部例外はありますが、操縦者は十時間以上の飛行経歴・技能を有することが求められています。

操縦者養成講習では、この十時間以上の飛行経歴と飛行技術の付与を目的に、機体の点検方法から始まり、基本となる前後左右・上昇・下降飛行、またこれらを組み合わせた円形や８の字飛行と徐々に難易度が上がる内容となっています。受講生は、初めこそ戸惑った様子もありましたが、普段林業機械等の操縦に従事することもあってか、講習が終わるころには思い通りに飛行させることが出来るようになり、一連の飛行技術を習得していました。

無人航空機の操縦体験

日程は二日間という短期間でしたが、マンツーマンでほぼ休憩なしの講習と、正直かなりハードでしたが、よく言えば充実した二日間だったのではないでしょうか。

今後も様々な活用方法を検証していきたいと思いますので、「こんな業務に使えるのでは？」等の意見がございましたら是非をお聞かせください。

操縦者養成講習の様子

木の文化を育む㉑

世代を超えて想いをつなぐ～木と人の共生～（森と里 合同会社）

郡山女子大学 人間生活学科 建築デザインコース 准教授 阿　部　恵利子

○はじめに

福島県への移住世帯数は、震災後減少傾向にありましたが、二〇一六年度には一〇〇世帯を超え、二〇一九年度は五〇九世帯にまで増加しています。

森と里 合同会社（田村市）代表社員、久保優司さんは、東京電力福島第一原発事故の翌年、福島の除染ボランティアに通い始め、二〇一三年に岩手県から田村市都路町に移住してきました。移住の目的は、林業に従事するためです。「阿武隈山系の木は若い広葉樹林が多く、昆虫や動物、微生物が豊富に生存している。この里山の素晴らしさを次世代に継承していきたい。山でのきつい作業が今の自分のためではなく、後の世代のためなので、やりがいを感じています。」と久保さん。

○森と里 合同会社の設立

二〇一九年四月、久保さんは「森と里 合同会社」を四人のメンバーで立ち上げました。東京電力福島第一原発の事故で入れなくなった山の整備をしたい。社会的弱者と言われる人たちと自然の中で一緒になって、泣いたり笑ったりしたい。大人は勿論、子どもたちが地元に誇りを持てる地域づくりをしたい。こうした想いを共有する四人が集まり、自然の癒しや寛容の力、林業の魅力を多くの人に伝えたい、という夢を着実に実現しています。「私が生きているうちに実現できなくとも、その種まきができたらいいと思っています。」と久保さん。

○森のアトラクション

専用のロープ、サドル等を使用して木に登る「ツリークライミング®」は、老若男女、体力、体格に関わらず、誰でも楽しめる森のアトラクションです。ツリークライミング®を通して木を身近に感じることで、自然を愛する心を育み、疲れた体や心を癒します。

久保さんは自然の力を借りて、たくさんの人を元気にしたい、という想いで、二〇一六年にツリークライミング®体験会を始めました。体験会は大変好評で、二〇一七年には想いを同じくする仲間が集まり、ツリークライミング®「どんぐりの芽」を立ち上げました。年間十五回前後、田村市を中心に体験会を開催しています。「どんぐりの芽」は日本で初めてツリークライミング®を始めたツリークライミング®ジャパン（二〇〇〇年設立・本部愛知県）の認定クラブです。

「どんぐりの芽」は、①失われつつある人と森林のつながりを取り戻したい。②阿武隈山系の人と森林の歴史を伝え、後世まで美しく守り育てたい。③たくさんの人の体と心を自然の力で元気にしたい。を目的に二〇二〇年現在、二八名の会員が活動しています。

○安心安全なプログラム

ツリークライミング®「どんぐりの芽」では、木に親しみ、自然の生命に包まれることは、すべての人が等しく享受すべきである、という考えのもと、二〇一八年より、車いすの方対象の体験会も開催しています。木に登る際は医師や理学療法士にも相談し、心身の状況は勿論のこと、登る際に使用する道具にも気を配り綿密に計画を立てます。また「どんぐりの芽」は、ツリークライミング®の世界組織と提携して安全な技術、道具を常に追求しています。

ツリークライミング®の効果は、リアルな体験を通して、達成感や自信を得ることができること、また、たくさんの生命に包まれることで、その尊さや大切さを感じられることが最大の魅力です。プログラムでは参加者が木の気持ちになる「モクモク体操」や自然に向き合う時間を設けています。小学生以上であれば誰もが楽しめ、八四歳の高齢の方でも登ることができたそうです。

○まとめ

森と里 合同会社では、林業作業全般、特殊伐採の他、ツリークライミング®等を通して木と人、人と人の共生を目指しています。〝世代を超えて想いをつなぐ〟貴方もぜひ想いをつなぐ一人になってみませんか？

ツリークライミング®体験会

木材市況

八月の原木市場への入荷量は、前月比八パーセント減（前年比二八パーセント減）の一三、五二九立方メートルとなっている。

販売量は、前月比一九パーセント減（前年比三二パーセント減）の一二、九一六立方メートルとなっている。

九月の価格は保合いとなっている。

素素材の価格〈工場着価格〉（2020年９月15日現在）

（単位：㎥当り千円）

区分		形量 径(cm)	形量 長さ(m)	材質	樹種	中通り地方 当月	中通り地方 前月差	会津地方 当月	会津地方 前月差	浜通り地方 当月	浜通り地方 前月差	県平均 当月	県平均 前月差
一般用材	小	5～9	4.00	並	スギ	8（5～10）		（0～0）		9（9～9）		8（5～10）	
		10～14		並	スギ	12（12～12）	1	（0～0）		11（11～12）		11（11～12）	
	中	14～22	3.00	並	スギ	11（8～12）	1	14（14～14）		12（11～13）		12（8～14）	1
				並	ヒノキ	12（12～13）		（0～0）		15（14～16）	1	14（12～16）	1
			6.00	並	スギ	15（15～16）		10（10～10）		17（16～18）		15（10～18）	
				並	ヒノキ	24（23～25）		（0～0）		22（20～24）		23（20～25）	
		20～28	3.65	並	スギ	11（10～12）	1	11（10～12）		12（10～13）	1	11（10～13）	
			4.00	並	スギ	10（9～10）	1	10（10～10）		11（10～13）		10（9～13）	
				並	アカマツ	9（8～10）		（0～0）		8（8～9）		9（8～10）	
			1.80	並	アカマツ	6（5～8）		（0～0）		8（8～8）		7（5～8）	
外材	米材（定尺）	30以上	10.00	並	米ツガ	（0～0）		（0～0）		30（30～30）		30（30～30）	
				並	米マツ	28（28～28）		30（30～30）		28（28～28）		29（28～30）	
	北洋材（定尺）	28以下	3.80	並	エゾマツ	（0～0）		（0～0）		25（25～25）		25（25～25）	
			4.00	並	アカマツ	（0～0）		（0～0）		25（25～25）		25（25～25）	
				並	カラマツ	（0～0）		（0～0）		25（25～25）		25（25～25）	
パルプ用材				並	マツ	7（7～7）		（0～0）		7（7～7）		7（7～7）	
				並	広葉樹	10（10～10）		（0～0）		（0～0）		10（10～10）	

区分	形量 径(cm)	形量 長さ(m)	材質	樹種	会津共販 当月	会津共販 前月差	いわき 当月	いわき 前月差
一般用材	12以下	4.00	並	カラマツ	（0～0）		7（6～9）	
	13～14		並	カラマツ	（0～0）		8（7～9）	
	16以上		並	カラマツ	（0～0）		10（9～12）	

注）1．前月差の△印は値下りを示す。
2．（ ）内は各地域の価格幅、（ ）外は各地域の平均的価格を示す。
3．一般用材カラマツは工場着価格ではなく、福島県森林組合連合会の会津共販所・いわき木材流通センターの素材市売価格を示す。
4．各地域の価格について、異常値が生じた場合には県平均算出から除く場合がある。

ふくしま東西南北

カメムシ日和

県南農林事務所　山田憲司

早速ですが、写真をよくご覧ください。薪の隙間で越冬しようとしていたカメムシたちです。身を寄せ合って厳しい冬を堪え忍ぼうとしている姿に愛おしさを感じませんか？…。感じませんね。私も感じません。

毎年、秋の暖かい晴天の日、我が家で「カメムシ日和」と名付けた日がやってきます。越冬場所を求めてカメムシが大量に飛び交い、隙間という隙間にカメムシが入り込み、換気扇は回らなくなります。うかつに窓を開けておこうものなら、排除するために多量のガムテープを必要とし、残り香に耐えなければなりません。

カメムシ日和が過ぎ寒さが本格化してからも、室内に薪や資材を入れる際、写真のような集団越冬中のものを入れてしまうと、暖かい部屋の中で活性化し大変なことになるので注意が必要です。払い落とすのですが、落としきれずに何匹かは部屋の中に入ってしまい、重低音を響かせて部屋の中を飛び回ることになります。

カメムシが多いと雪がたくさん降るとよく言われます。とはいえ、記録的な少雪であった昨シーズンも、いつもどおりのカメムシ日和でした。なので、カメムシによる積雪予報は当てにならないと思っていますが、さて、今シーズンの積雪はどれくらいでしょう？

はなしのひろば

心清らかに

十二月十三日は「煤払い」の日。そして、お正月に新しい歳神様を迎える「正月事始め」の日でもある。日本には歳神様を始め、八〇〇万の神様が、四季の暮らしの中で私達と結びついている。家に住んでいる神様は、家そのものを守っている「屋敷神」東北地方で有名な座敷童子もこの神様である。そのほかに門やトイレの神様、納戸や竈（かまど）の神様。こんなにもたくさんの神様が、家を守ってくれていると思うと、掃除にも自然と気持ちがこもる。

この「十二月十三日の煤払い」は、江戸城の煤払いがおこなわれた日で、寛永十七年（一六四〇年）以降この日に定められたらしい。それが庶民にも広がったといわれているが、神社仏閣では、三八〇年も経過した今なお、十二月十三日に「煤払い」がおこなわれている。テレビで煤払いの映像が流されると、もうそこまで新しい年が来ているのかと少々焦る。

小説家安藤鶴夫氏は「あの十二月の、次第に数え日になって、大晦日に近づいていくざわめきや、なんともいえない気ぜわしさがたった一晩の違いで、サッと消えて、元日の朝は、こどもごころにも、何からなにまで清澄に思えた。」と記している。確かにそんな清らかな気持ちにさせてくれる元日は、とてもありがたい。「ハレの日」とはそういう気持ちにさせてくれる特別な日だ。それは、それぞれが、大掃除で身の回りを清浄（きよ）め、除夜の鐘でいち年の心の煤を払って新しい年を迎えるからに違いない。

どうぞ、皆さま、心清らかな年の瀬を。

（都）

表紙の写真

「かま出し」
第17回ふくしま森林・林業写真コンクール　奨励賞
受賞者　遠藤十一さん（白河市）
撮影場所：鮫川村渡瀬
コメント：竹炭のかま出し作業を見て大変だ。

編集　福島県
福島県内四森林管理署
福島県森林・林業・緑化協会
福島県森林組合連合会
福島県木材協同組合連合会
福島県農林種苗農業協同組合
ふくしま緑の森づくり公社
森林研究・整備機構福島水源林整備事務所
福島県森林・林業・緑化協会
発行　（福島市中町五番一八号県林業会館内）
発行人　水戸典明
陽光社印刷株式会社
（定価　一一〇円）

お知らせコーナー

令和２年度森林づくり研修会を開催します！

林業就業者のキャリア形成を支援するため、森林づくりの理念や持続可能な森林経営等を講演により学ぶ研修会を下記により開催します。

全国的に「脱・国産材産地」時代の林業の動きが進むなかで、川上～川下が連携して持続可能で共栄できる林業経営のあり方をパネルディスカッション形式で討論し、林業事業体の進むべき道を考えます。

林業事業体で働く方々のキャリア形成に大きく貢献するものと考えますので、積極的なご参加をお待ちしています。

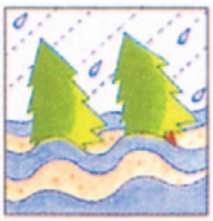
１　日　時　令和３年１月22日（金）　午後１時30分～４時
２　会　場　産業交流館「ビッグパレットふくしま」４階プレゼンテーションルーム
（郡山市南二丁目52番　電話024-947-8010）
３　テーマ　「県内の最新林業事情と林業事業体の進む道」
４　コーディネーター　幡　建樹 先生（東京大学アジア生物資源環境研究センター特任研究員）
パネラー１　佐川広興 氏　（協和木材㈱代表取締役）
パネラー２　遠藤秀策 氏　（遠藤林業㈱代表取締役）【レポート提出】
パネラー３　田子英司 氏　（いわき市森林組合代表理事組合長）
パネラー４　松澤　瞬 氏　（（同）SCOP代表社員）
パネラー５　鈴木賢二 氏　（南東北木材㈱代表取締役社長）
５　研修対象者　林業就業者等（定員70名）
６　参加申込み方法
(1)　参加申込書は、当協会のホームページよりダウンロードして、必要事項を記入の上、（公社）福島県森林・林業・緑化協会内　福島県林業労働力確保支援センターの宛先
メール：fukushien@violin.ocn.ne.jp　FAX：024-521-3246までお願いします。
(2)　**申込期日　令和３年１月８日（金）**
(3)　参加申込みは先着順となり、複数参加の申込み事業体については、人数を制限する場合があります。
(4)　新型コロナウイルス感染症対策に万全を期すため、申込時の住所氏名の記入および研修会当日の感染防止対策へのご協力をお願いします。
(5)　**問い合わせ先：福島県林業労働力確保支援センター（TEL：024-521-3270）**

備えのパートナー 森林保険

こんな災害からあなたの山を守ります。

1 火災
山火事で受けた損害

2 風害
暴風による根返り、幹折れなどの損害



3 水害
豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害

4 雪害
大量の積雪による幹折れ、根返りなどの損害

5 干害
乾燥による枯死などの損害

6 凍害
凍結、寒風などによる枯死などの損害

7 潮害
潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害

8 噴火災
火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《保険の対象となる森林》
竹林や人手の全く入らない天然林を除き、面積が0.01ha以上であれば、樹種、林齢に加入制限はありません。

《ご相談・お申し込みは》

◆福島県森林組合連合会
TEL024-523-0255㈹

または最寄りの森林組合

イワフジの GP シリーズ

GP-35B グラップルプロセッサ

IWAFUJI INDUSTRIAL CO., LTD.

傾斜地に対応した全旋回チルトプロセッサ

- 最大 38 度のチルト機能により傾斜地での作業性が大幅に向上
- 全旋回ローテータにより油圧ホースが絡む心配不要
- サイドカッター解除機能により曲がり材に対応
- 大容量油圧システムと強化型送りモータによるパワフルな送材

最新の GP-8 コントローラを搭載

- 5.7 インチカラー液晶ディスプレイによる多彩な情報表示
- 感圧式タッチパネル採用により操作性が向上
- A,B,C,D の 4 コード毎に 4 種類、合計 16 種類の測長設定値
- 樹種を 4 種類登録でき、個別に測長調整値の設定が可能
- 材積集計機能を標準で搭載

新開発のスタッドローラ（オプション）

- 鉄輪の全周に装着された無数のスタッド（鋲）が材を強力に捉え、送りモータのトルクを伝えます。
- 特殊形状のスタッドを一体化したシンプルな構造で、メンテナンスが容易

For the future with forest

イワフジ工業株式会社

http://www.iwafuji.co.jp/

ISO 14001 JQA-EM4425 本社・工場　MS JAB CM009

（南東北支店）福島県郡山市八山田 5-314
TEL 024-973-5166　FAX 024-973-5168
（本社・工場）岩手県奥州市水沢宇桜屋敷西 5-1
（支　　店）札幌・東北・南東北・関東・中部・関西・中四国・九州

林業福島 十二月号 通巻第六七六号
令和二年十二月一日発行
（毎月一回一日発行）
監修 福島県農林水産部
編集発行人 水戸 典明
発行所 公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会
福島市中町五番十八号 県林業会館内
定価一一〇円
年間購読料一、九八〇円（税・送料込）

レインボー薬品の薬剤と資材

緑地管理の未来をひらく

わたしたちは、人と自然の調和を考えながら、より良い緑の環境づくりを目指しています

松くい虫予防薬剤

ヤシマスミパイン乳剤
スミパインMC
マツグリーン液剤2
グリンガード・NEO

くん蒸剤

ヤシマNCS

くん蒸用生分解性シート

くん蒸与作シートハイバリア

ハチ退治

ハチノックL（巣処理用スプレー）
ハチノックS（携帯用スプレー）

新商品　猪レスSTOPテープ　ヒルノックWスプレー　ヒルノックW

レインボー薬品株式会社
東京都台東区上野1−19−10　お問い合わせ TEL. 03(6740)7777　平日 9:00〜17:00（土・日・祝日は休み）

ZENOAH®
人と共に　緑と共に

For Professional
BCZ275GW-DC
排気量 25.4cc

For Professional
GZ3950EZ
排気量 39.1cc
／
GZ4350EZ
排気量 43.1cc

ZHM1550RR
刈幅：1500mm　出力：27.5kW

SR3100
破砕径：200mm　出力：18.4kW

ハスクバーナ・ゼノア㈱ 福島県代理店
(有) うねめ林業機械
TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108-1